

絵本の読み聞かせ(帯活動)

授業の中で5～10分ほどの短い時間で継続的に絵本の楽しさに触れさせる活動を行います

第3学年(移行期間)【単元内容を帯活動として扱う】

○単元 9 Who are you? "In the Autumn Forest" 「きみはだれ？」

○単元目標【現行の外国語活動の観点】

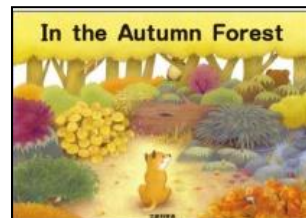
【コ】進んで、絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、台詞を真似て言おうとする。

【慣】「誰か」と尋ねたり、それに答えたりする表現に慣れ親しむ。また、絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容が分かる。

【気】日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付く。

○主な活動例

- ・既習の語彙(色、形、動物等)を使いながら絵を見せる。
- ・絵本を読み聞かせたり、絵本の内容について質問に答えたりする。
- ・台詞を真似て言う。



第4学年(移行期間)【単元内容を帯活動として扱う】

○単元 9 This is my day. "Good Morning" 「ぼく・わたしの一日」

○単元目標

【コ】進んで、絵本などの短い話を反応しながら聞こうとする。

【慣】日課を表す表現に慣れ親しむ。絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容がわかる。

○主な活動例

- ・既習の語彙(時間、数、人物、動作等)について、絵を見せながら聞かせる。
- ・絵本の読み聞かせを聞いたり、絵本についての質問に答えたりする。
- ・校内の先生の生活について聞き、どの先生かを当てる。
*新学習指導要領の完全実施以後は、単元9は1単元扱いとなり上記の「帯活動」扱いではなくなります。



絵本の読み聞かせ(帯活動)の活動例

1 位置づけ

- (1) あいさつの後(ウォーミングアップの位置づけとして)
- (2) Activityの後、前時の復習の前(時間配分に気をつける。)

2 活動例

(1) 絵本の内容を聞かせる。

①デジタルデータ("Story Books")の視聴をする。

②HRTやALTが絵本を見せながら、読み聞かせをする。

留意点: どこまでを聞き取らせるかを明確にしておく。

ゆっくり、何度も、児童の反応を見ながら聞かせる。

動物の鳴き声のまねや、擬音、ジャスチャーを多用し、表情豊かに読む。

登場人物やポイントの部分を指さししながら十分に聞かせる。

時折質問をしながら、絵本の世界に児童を引き込む。

例: 「これは何かな」→「森にいる動物」、「何をしているのかな」→「ある少年の一日」

例: 「どんな単語が聞き取れましたか。」→「ネズミ(mouse)」、「Good morning」

(2) 絵本に出てくる単語・語句の導入(ピックアップカード1～5枚程度分 など)

留意点: 5枚×6時間=30枚(6時間を目安とした場合)

: 該当のスライドを先に視聴させることも効果的

活動例: ①リピート(ALTの発話やデジタル教材の音声に真似て言う)

②チャンツや絵本を活用したゲームを行いながら、慣れ親しませる。



⇒ 「小学校の新たな外国語教育における補助教材(Hi, friends! Story Books)作成について(第3・4学年用)」(文部科学省HP)もチェック!